

## 會 務

土木學會誌 第十一卷第六號 大正十四年十二月

- 大正十四年七月十七日土木學會高速度鐵道調査委員會第二十八回特別委員會を開き大河戸主査安倍、田中、西、平井、古川の各委員沼田幹事土井、野坂の兩囑託出席す
- 同年九月二十五日編輯委員會を開き川口委員長野口、山崎、平井の各委員三浦囑託出席會誌編輯上に付協議を爲せり
- 同年十月九日役員會を開き日下部會長太田、後藤、島、竹内、八田、眞島の各常議員井上主事川口編輯委員長野口同委員出席日下部會長議長席に着き下記事項を決議せり
  - 一、來る十六日午後五時より第四十回講演會を開催することとし該講演を東京市水道局長小川織三君に依頼すること又講演會終了後晚餐會を催すこと
  - 一、大阪市内外高速交通機關調査報告書發行に關する經費を臨時會誌費として支辨すること
- 其他會務に關する事項
- 同年同月同日土木學會震害調査委員會委員を永田念郎君に囑託せり
- 同年十一月六日(金曜日)午後五時より麴町區有樂町一丁目一番地帝國鐵道協會に於て第四十回講演會を開催し下記の講演ありたり當日は日下部會長外役員會員及會員外の者とも併せて百餘名の來聽者ありたり尙閉會後同所に於て晚餐會を開き五十三名の出席者あり盛會裡に同八時散會せり
- 同年同月十六日土木學會高速度鐵道調査委員會第二十九回特別委員會を開き大河戸主査安倍、田中、手塚、西、平井、古川、物部、山崎の各委員沼田幹事土井、野坂の兩囑託出席す
- 同年同月十九日土木學會高速度鐵道調査委員會特別委員を海老塚肅君に囑託せり
- 同年十月二十日編輯委員會を開き川口委員長佐藤、平井、谷井、山崎の各委員三浦囑託出席會誌編輯上に付協議を爲せり
- 同年十一月二十四日會誌第十一卷第五號及會員名簿發行成規の届出を爲し同二

十五日各會員に配付せり又同時に大阪市内外高速度鐵道調査會報告書及同附圖を添付せり

○准員秋山喜眞太君は「荒尾」と改姓同土屋龍夫君は「尙亮」と改名せられたる旨届出ありたり

○下記の諸氏は退會せられたり

會 員		
岡 俊 雄君	杉 井 和 一 郎君	
准 員		
石 原 新 吉君	岩 川 亥 之 助君	鬼 木 豊 吉君
大 平 一 君	鏡 石 太 伊 藏君	工 藤 祐 基君
志 谷 百 中君	庄 子 誠 一 君	鈴 木 茂 君
杉 山 毅 夫君	武 富 憲 時君	中 村 新 作君
速 水 龍 五 郎君	福 田 一 彦君	村 田 喜 四 郎君
山 本 廣 一 君	吉 村 瀧 一 君	

○同年九月十六日以降同十一月十五日迄に入會を承認し名簿に登録したるもの下記の如し(○印ハ准員、△印ハ學生員)より轉したるものを示す

會 員 (三 名)		
○岩 崎 雄 治君	○高 田 清 君	○渡 邊 了 武君
准 員 (三 名)		
小 川 琢 磨君	△菊 地 明 君	△北 澤 貞 吉君
學 生 員 (六 名)		
青 島 勝 三君	江 尻 唯 一 君	小 谷 一 男君
加 藤 次 郎君	内 藤 勝 君	中 川 順 造君

○同年九月十六日以降同十一月十五日迄に寄贈及交換を受けたる雜誌其他下記二十九種なり

寄贈を受けたる分

治水及填築(明治以後)	一冊	内務省土木局
建築士法成立に關する諸家の意見	一冊	日本建築士會
土木建築工事畫報第一卷八一—一〇號	三冊	工事畫報社

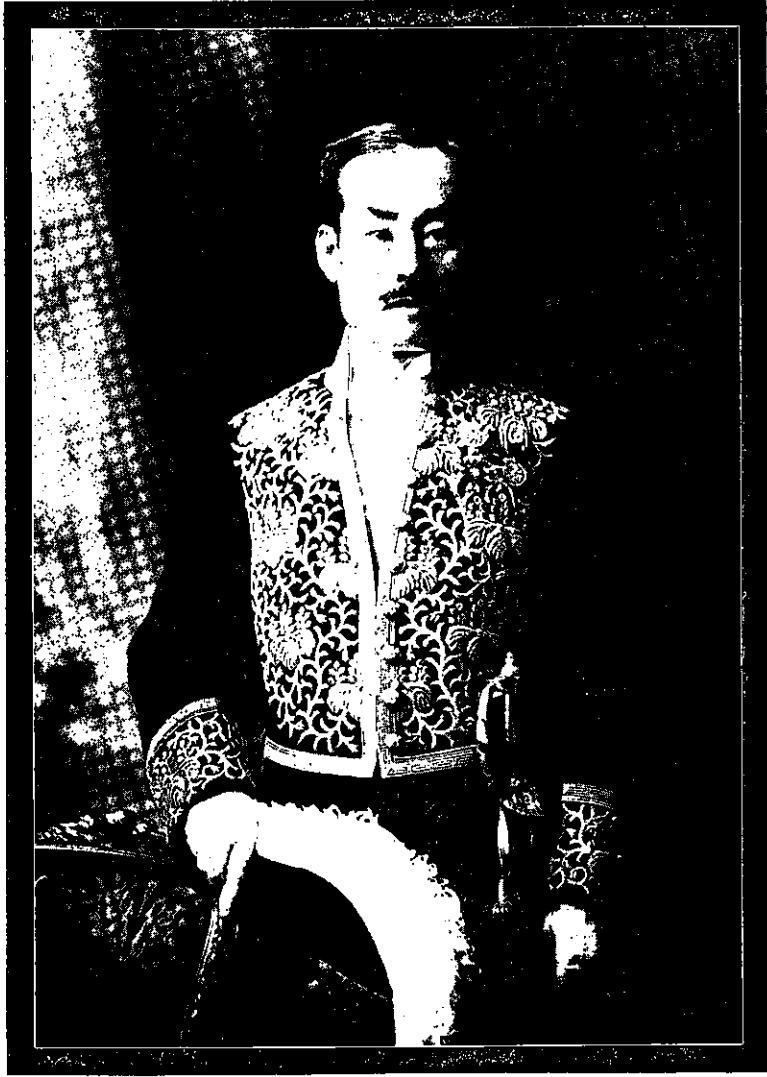
電氣タイムス第一卷第六—八號	三冊	電氣タイムス社
帝都復興事業に就て	一冊	復興局土木部長 太田 四三氏
工學部紀要第十六冊第六、七號	二冊	東京帝國大學工學部
同 第三卷第九號	一冊	京都帝國大學工學部
同 第三冊年六號	一冊	九州帝國大學工學部
東京高等工業學校一覽	一冊	其 校
建築物の耐震的補強法に就て	一冊	社團法人電氣學會 關西支會部
電氣製鐵第一卷第一〇、一一號	二冊	電氣製鋼研究會
土木建築雜誌第四卷第九—一一號	三冊	シビル社
土木建築資料通信第九一、九二號	二冊	土木建築資料通信社
工業評論第一卷第一〇、一一號	二冊	工業評論社
建築第一卷第一—三號	三冊	建築社
工政第七二號	一冊	工政會
港灣第三卷第八號	一冊	港灣協會
三菱電氣第一卷第八、九號	二冊	三菱電氣機株式會社 神戶製作所
名古屋工業會々報第三一號	一冊	名古屋工業會
滿洲技術協會誌第二卷第一〇號	一冊	滿洲技術協會
國際建築時論十一月號	一冊	國際建築協會事務所
研究報告	三冊	製鐵所
交換の分		
帝國鐵道協會々報第二六卷第五六號		
及名簿	三冊	帝國鐵道協會
建築雜誌第三九輯第四七五、四七六號	二冊	建築學會
工業化學雜誌第二八編第一一冊	一冊	工業化學會
業務研究資料第一三卷第一〇、一一號	二冊	鐵道大臣官房研究所
造船協會雜纂第四五號	一冊	造船協會
電氣學會雜誌第四四八號	一冊	電氣學會
鐵と鋼第十一年第一〇號	一冊	日本鐵鋼協會

准員木村晃正君は大正十四年十月死去せられたり本會は哀悼の意を表す

土木學會誌第十一卷第五號

「貯水用重力堰堤の特性並に其合理的設計方法」正誤表

頁	行(上より)	誤	正
6	8	堤防	堰堤
7	15	相當	當時
8	4, 5	事業	事等
16	18	特有	稀有
17	30	其務	其勢
22	10	拱壁堤	拱堰堤
28	11	探出	案出
29	21	強制せざるも	強制せざるも
30	24	決定	規定
32	18	作用に堤頂	作用に依り堤頂
34	3	100 ton/cm <sup>2</sup>	100 ton/m <sup>2</sup>
39	6 と 7 の間に	第三表の続き	と入れる
57	20	$\mu = \mu$	$\mu =$
60	26	附圖第十一	第三圖
71	13	$\frac{1}{1-k_1}$	$\frac{k}{1-k_1}$
75	14	$kW \frac{H^2}{1} (m+n)$	$kw \frac{H^2}{2} (m+n)$
”	16	$m$	$n$
94	19	堤砂	堆砂
95	1, 11		
101	式(61)の終端	}}}	}}}
101	26	$\frac{K_2 (m+K_2)}{1-K_2^2}$	$\frac{K_2 (m+K_2)}{1+K_2^2}$
108	式(70)分母	$-2\mu w$	$-2\mu m$
131	式(106)	$3\left(\frac{dy}{dy}\right)^2$	$3\frac{dy^2}{dx}$
135	12, 分子の終端に	}	をに入れる
138	20	$0$	$c$
143	式(120)	$\left\{1 + \frac{''}{''}\right\}$	$\left\{1 - \frac{''}{''}\right\}$
144	式(124)	$x \frac{dz_2}{x}$	$x \frac{dz_2}{dx}$



故工學博士 岡崎芳樹君

## 故工學博士 岡崎芳樹君略歴

君は舊山口藩士族岡崎大迹氏の長男にして元治元年三月十四日周防國佐波郡右田村に生る明治二十二年七月帝國大學工科大学土木工學科を卒業し直に内務省に入り内務技師試補を命ぜられ第三區土木監督署(新潟)に勤務す二十四年九月第二高等中學校教授となり熱誠教鞭を執る二十五年十二月熊本縣技師に轉す當時縣下道路の荒廢甚しく地方産業の隆替に影響著しきものあり則ち之が改修に參畫し其事業を監督す功成り時人之を縣下道路の模範となせり二十九年一月土木監督署技師に任せられ第五區土木監督署(大阪)に轉し主として監督部事務に鞅掌し地方土木事業を監督す又二十九年より三十七年迄大阪電話交換局地下線土木工事に關する事務を囑託せられ盡力する所あり三十八年四月官制改正により内務技師となり土木局勤務監査課(後工務課治水課監理課に變遷す)の事務を擔任す四十二年四月土木工事調査のため歐米各國に差遣せられ翌年歸朝す次て十月臨時治水調査會の設置せらるゝや君亦幹事を命ぜられ調査立案の衝に當り治水事業の方策を樹立するに與て力あり四十四年四月高等官二等に進み内務省名古屋土木出張所長に補せらる當時施工中なる敦賀港修築工事並に木曾、九頭龍兩川改修工事に盡瘁する所あり大正二年六月土木局調査課長心得兼直轄工事課長心得を命ぜられ又港灣調査會委員となる六年十月稀有の大風雨のため淀川洪水氾濫し被害少からず就中右岸大阪府三島郡大冠村大塚堤防の決潰は慘狀その極に達す關係官民直に應急堰止工事に着手するも連日雨塌ます水勢奔騰防ぐに由なく荏苒日を空ふするの有様なりしか此時に當り之が指揮監督のため君特に選はれて本省より派遣せられ具さに水害地を實査し新に計畫を立て晝夜兼行従業員を督勵しさしも至難なりし堰止工事を短時日の間に完成し沿岸浸水地七八千町歩の田畑を救治し數萬の住民をして蘇生安堵せしめたるは君の畫策宜しきを得たるに因るものにして實に君の一生を通して特筆大書するに足る所なり同年十二月内務省大阪土木出張所長に補せらる七年一月大阪府より淀川堤防復舊工事工務を囑託せられ九年七月都市計畫大阪地方委員會委員となる八月進んで高等官一等に十年八月從三位に陞敘十二年一月勳二等に敘し瑞寶章を授けらる君尙元氣旺

盛なりと雖とも漸く老境に入るの故を以て十三年三月依願退官せられたり四月正三位に進む十二月多年の研鑽に成る琵琶湖の水位調節に關する論文を東京帝國大學に提出して工學博士の學位を授けらる

君天賦清廉潔白苟くも一塵一埃の存するを許さず頭腦明晰にして緻密其職務を執るや勤勉誠實嚴正公平用意亦周到にして些事と雖とも敢て忽諾に付せず時に秋霜烈日の感あるも忽ち融和して春風駘蕩の趣あり要するに徹頭徹尾至誠親切の人なり君石船と號し書を能くす當時技術界の三筆と稱せらる又繪畫和歌を愛す退官後京都洛北平野に卜居し晴耕雨讀悠々自適す大正十四年一月親友數名と共に六甲山麓苦樂園に碁を圍みて清遊中突然二豎の冒すところとなり溘焉として薨去せらる痛悼の至りに堪へざるなり享年六十二歳君四男三女あり末子兼備君の尙家に在りて中學に學ぶの外男は皆業を卒へて身を立て女亦良縁を得て圓滿なる家庭を成せり今や君か家に在りて兒孫に圍まれ和氣霽々たる溫容を視る能はず悲哉

(帝國學士會幹事櫻井錠二氏より東京帝國大學工學部依國一氏を介して下記の如き照會ありしを以て茲に關係書類を登載することとせり)

拜啓別紙帝國學士院長よりの依頼狀有之候通り今般同院に於て毎月一回以上 Proceeding を發行し本邦學術的業績を迅速に世界に紹介せられ候之に對する各専門家の賛意盛なるを以て今後は數學、星學、物理學、化學、地球物理學、地質學、生物學、醫學、農學及工學並法文經の諸科に亘りて多々報告せらるゝこと、存候

工學關係に於ては從來各所に於て重要なる調査研究を遂げられ或は大に世界に發表すべきもの多々有之候此際前陳の機關を通じて之を公にするは本邦工學専門家の學術上の價値を表示すべき一助共相成可申候迂生今同學士院工學關係の出版委員に擧げられ夙に意を爰に致居候奮て御寄稿相成度此段得貴意申候 敬 具

東京帝國大學工學部

大正十四年十月二十八日

出版委員 依 國 一

日下部 辨次郎殿

追て御寄稿は小生宛或は直接帝國學士院宛(東京上野公園内)御送附被下度候甲第二二七號

拜啓本邦に於ける學術的業績を普く且速に世の學界に紹介することの必要なるに鑑み今般本院に於て別紙趣意書の計畫を立て之が實行に着手中に有之候而して我學界の各方面が右計畫に賛同し之を利用せらると否とは之が効果を擧ぐる上に大關係ある次第にも有之候へば何卒御配慮に依り廣く我學界の賛同協力を得度特に御部内其他御關係の學會等に右趣旨の貫徹する様御配慮に預り度此段御依頼迄得貴意候 敬 具

大正十四年十月 日

帝國學士院長代理

帝國學士院幹事 櫻 井 錠 二

殿

本邦に於ける學術的業績を普く且速に世の  
學界に紹介する計畫趣意書

本邦に於ける各學會の機關雜誌其の他に依りて世に發表せらるゝ研究の成績に



して學術の發達に寄與し人知の増進に貢獻するに足るもの決して少しとせず然るに是等は邦語を以て記述したるもの多きを占むる爲普く歐米の學界に紹介せられざるの憾甚多し斯の如きは知的協力の精神より觀て大に遺憾とする所なるのみならず發見若くは發明に關する優先權を保障せる上より考ふるも亦甚だ不利益なるを免れず而して他方各大學の紀要學術研究會議の輯報等は我邦に於ける研究を歐米の學界に紹介するに適當なる機關たるに相違なきも未だ以て足れりと爲すこと能はざるは我學界の切實に感ずる所なりと信ず

茲に於て本院は一の計畫を立て之が實行に着手中にして其の主眼とする所は重要なる研究成績の概要を普く且速に世の學界に紹介するにあり我學界の諸士が此の計畫に賛同して之を利用せられんことを切望する次第なり同計畫の要點左の如し

- 一、英佛獨語の中一(成るべくは英語)を以て綴りたる研究成績の概要報告又は豫備報告を隨時本院に提出すること但し提出者が本院會員に非ざる場合には本院會員の紹介を経ること
- 法科文科經濟科等の人文諸學科に關する報告は場合に依り邦文原稿にて提出するを得ること
- 一、研究成績の詳細を別に演説著述等として發表するは當事者の自由たること
- 一、本院に提出する歐文報告は約一千語以内のものにして文意明瞭文字明瞭なるものたること
- 邦文原稿は約二千字以内のものにして術語には歐譯を添ふること
- 一、歐文報告は本院出版委員の銓衡を経て本院刊行の Proceedings of the Imperial Academy に登載し廣く之を内外の大學、圖書館、研究所、學會等に寄贈す
- 一、前項の刊行物は八、九兩月を除き毎月一回以上之を發行し毎回の頁數約二十五頁の豫定なり

### 帝國學士院歐文記事編纂出版內規

- 一、帝國學士院は帝國學士記事 Proceedings of The Imperial Academy を編纂し之を公刊す
- 二、記事には本邦に於て爲されたる科學的研究の概要報告又は豫備報告を登載し尙本院集會の録事會員の傳記等を掲ぐ

三、記事は八・九兩月を除き毎月一回以上不定期に之を發行す。一回の頁數を約二五頁とし一年分を以て一卷とす記事の大きさは紙面縦二六五糎幅一九・二糎とし印刷面縦一八糎幅一二糎とす

本文の活字は「スモール・バイカ」とし一頁の行數は三九行とす

#### 四、印刷指針

- (1) 記事には先づ本院集會の録事會員の傳記等を掲げ次に學術報告を登載す
- (2) 報告の表題、著者の姓名、學位等は次の順序様式に依る
  - (イ) 報告の表題 字體は「ゴシック」の「イタリックス」とし最後に句點(・)を附す
  - (ロ) 著者の姓名 姓名は節略することなく其の全部を記載し且必ず名を先にし姓を後にす字體は「ゴシック」とし姓の全部と名の首字とは大文字とす
  - (ハ) 學位 學位の記載は著者の任意とす。略字を用ふるも可なり
  - (ニ) 官職名 著者の官職名又は學界に於ける地位等は成るべく之を記載し最後に句點を附す
  - (ホ) 受理の年月日又は紹介者の姓名及受理の年月日を括弧内に記す。紹介者の名は略字を用ふるも可なり

#### 例

The Degradation of Gamma Ray Energy. By Masao YAMADA, Ph. D.,  
Professor of Physics, Tokyo Imperial University. (Communicated by Dr.  
A. Tanaka. Received Oct. 12, 1925.)

- (3) 脚註は肩に小さく半括弧に入れたるアラビア數字を以て之を示す
 

例      1)      2)      3)
- (4) 本文中に引用せられたる人名は名を先にし姓を後にす但名は適宜之を節略又は省略することを妨げず
- (5) 多數の文献を一括して記するときは其の著者の姓のABC順に依り之を排列す
- (6) 毎卷の終に其の索引(Index)扉頁(Title Page)及目次(Contents)を添附す
- (7) 索引は件名人名學名地名等に依り各別に作ることなく凡て之を總括し必要に應じ其の字體を異にして區別を明かにす
- (8) 索引中の人名は姓を先にし名を後にし其の間に「コンマ」(,)を附す

(9) 目次の排列は凡て内容の順序に依る

#### 五、寄稿者注意事項

- (1) 原稿の用語は英語佛語又は獨語に限る。但法科文科經濟科等に關する報告にありては場合に依り邦文原稿にて提出することを得此の場合には術語に歐譯を添ふることを要す
- (2) 原稿は本院會員を経て提出すべく又之を記事に登載すると否とは出版委員の意見に依る
- (3) 原稿は約一千語(邦文の場合は約二千字)以内のものたること
- (4) 原稿は成るべく「タイプライタ」を以て認め文意明確なることを要す
- (5) 報告の表題著者の姓名等の書式は前項印刷指針に依ることを要す
- (6) 「ゴシック」「イタリックス」等特殊の字體を要する場合には脚線を用ひて之を示すことを要す(「ゴシック」には波狀線を用ひ「イタリックス」には直線を用ひ「ゴシック」の「イタリックス」には用ふ)
- (7) 挿畫等は印刷に附せられ得べきもの限り之を採用す

## 新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配付致すべきに付其の以前の會誌御希望の場合は一部に付下記金額振替口座東京一六八二八に拂込用紙通信欄に其旨記入し請求せられたし

### 残 部 内 譯

第五卷一號二號	一部 金 壹 圓
第六卷三號六號	同
第七卷一號二號三號四號	同 金 壹 圓 五 拾 錢
第八卷一號二號三號	同 金 貳 圓
第九卷一號二號三號四號五號六號	同 金 貳 圓
第十卷一號二號三號四號五號六號	同 金 貳 圓
第十一卷一號二號三號四號六號	同 金 貳 圓
第十一卷五號(附録付)	同 金 參 圓
東京市内外交通に關する調査書	同 金 參 圓
土木學會誌索引	同 金 五 拾 錢

### 本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の宿所の不明なときは會誌の配付を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等にて御不在となるも會費の支拂には差なき様御配慮相成たし

### 會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し必ず御支拂の事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立共支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙整理の都合有之候に付會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相成たし

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會費年額	自一月至四月 第一期分二月		自五月至八月 第二期分六月		自九月至十二月 第三期分十月	
		徵	收	徵	收	徵	收
會 員	金 拾 八 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓	金 六 圓
准 員	金 拾 貳 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓	金 四 圓
學 生 員	金 七 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢	金 貳 圓 五 拾 錢

新に入會したるものは月割計算とし入會の翌月集金書を發す

### 會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金集金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して放なく支拂を拒絶し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滞納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配付をも停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様持に御留意の上集金郵便に御振込相成たし

### 會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年二月四月六月八月十二月(印刷又は原稿等の都合に依り翌月上旬配付の事あり)に發行し漏なへ配付すべきに付翌月未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月経過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配付不可能のことあるべきに付御留意相成たし

領收報告 自大正十四年九月十六日 至大正十四年十一月十五日 間受付分 (受付順)

會員大正十二年度第三期分會費

金六圓宛 島重治君 大杉齡治君

會員大正十三年度第一期分會費

金六圓宛 松山常次郎君 齋藤固君 芦田亨介君

會員大正十三年度第二期分會費

金壹圓五拾錢宛 杉浦翠君 中原藤一郎君 加藤順吉君

佐藤英夫君

金六圓 小澤義平君

會員大正十三年度第三期分會費

金六圓宛 杉浦翠君 野田虎男君 小澤義平君

荒井綠君 島重治君 中原藤一郎君 鈴木準一君

加藤順吉君 佐藤英夫君 田中正夫君

會員大正十四年度第一期分會費

金六圓宛 島重治君 中原藤一郎君 井上幸一君

鈴木雅次君 加藤順吉君 田中正夫君

金貳圓 榎木寛之君

會員大正十四年度第二期分會費

金六圓宛 新元鹿之助君 大藤直哉君 小澤義平君

峯村國吉君 齋藤固君 大塚藤十郎君 庄野卷治君

山田陽清君 森川藤次君 原靜雄君 井上幸一君

加生徳郎君 岩井宇一郎君 鈴木雅次君 後藤運平君

加藤順吉君 栗原忠三君 山中良樹君

會員大正十四年度第三期分會費

金六圓宛 青山鼎之助君 青木楠男君 石坂二郎君

小川東吾君 岩井芳通君 池野敏夫君 上原直吉君

内山新之助君 上倉俊君 江木貴一郎君 大塚晃長君

奥村長作君 菅野忠五郎君 近藤皎君 彭城嘉津馬君

杉井和一郎君 鈴木軍藏君 關信雄君 橋本一萬君

丹治經三君 内藤定靜君 中山忠三郎君 橋本一萬君

古川阪次郎君 曲尾辰二郎君 水野五郎君 三田善太郎君

山本直三郎君 阿部美樹志君 稻葉愷君 井上範君

乾慶藏君 石黒弘毅君 井上伊次君 内田祥三君

小川英次郎君 大藤高彦君 尾崎昌盛君 大窪正君

岡部榮一君 大島滿一君 大倉象馬君 大津道雄君

川地陽一君 鴨下武君 鴨居啓三郎君 堅田務君

神原信一郎君 鹿島精一君 笠原壽治郎君 久保彌太郎君

小阪拓次郎君 近新三郎君 佐藤三四郎君 相良守君

阪田時和君 白石多土良君 澁谷競多君 清水樋太郎君

白石辰三君 白石信親君 須山英次郎君 杉本好太郎君

鈴木義多郎君  
 渡邊謙吉君  
 富永正義君  
 中隈伊勢吉君  
 平瀬恒雄君  
 深瀨三治君  
 眞島健三郎君  
 山口準之助君  
 青戸信賢君  
 青木壽壽君  
 生駒勇男君  
 池邊稻生君  
 市江敏郎君  
 内田黍郎君  
 小川梅三郎君  
 大河内甲一君  
 小川織三君  
 川庄震吉郎君  
 景山英一君  
 木原彦次郎君  
 小藤宇太郎君  
 佐藤清哲二君  
 佐々木九郎君  
 坂菅原恒治君  
 高石庫真吉君  
 田島吹行雄君  
 遠武藤多仲君  
 内元鹿敬之助君  
 新橋本野正三郎君  
 平見野一太郎君  
 二星野親種君  
 溝口浦矩明君  
 三山田隆二君  
 山井昇君  
 横井治君

杉谷茂君  
 高橋誠一君  
 永井松次郎君  
 長澤達君  
 平田全祐君  
 細野芳彦君  
 森忠藏君  
 吉村惠吉君  
 荒木文四郎君  
 秋元繁松君  
 石井穎一君  
 池田圓男君  
 市川和男君  
 上野有芳君  
 小田延景君  
 大塚藤十郎君  
 岡部三太郎君  
 金森代雄三君  
 草地保藏君  
 小平友直君  
 小澤田堅太郎君  
 阪本丹治君  
 坂浦宗三郎君  
 杉田中寅男君  
 高田々木春美君  
 中谷郁三郎君  
 中原貞三郎君  
 野田六次郎君  
 濱田松龍吉君  
 久藤井子重三君  
 正三根奇能夫君  
 三宮崎喜之助君  
 山内辰次郎君  
 横和田堯春君

杉谷幸藏君  
 田村與吉君  
 南部常次郎君  
 西池氏文君  
 久野直六君  
 堀越清介君  
 森井田登君  
 吉野定次郎君  
 粟安藝杏一君  
 岩淵英之助君  
 井上親雄君  
 石川源藤二君  
 遠藤藤吉君  
 大久保敏行君  
 奥村簡二君  
 掛札季藏君  
 金井彦三郎君  
 衣川清昌水君  
 倉本幡長命君  
 木阪出鳴海君  
 阪本一平君  
 櫻山壯次君  
 清水熙君  
 杉浦翠君  
 高桑藤代吉君  
 谷井鋼三郎君  
 戸谷亥名藏君  
 中村光四郎君  
 中倉專一郎君  
 濱野彌四郎君  
 橋口復二郎君  
 平藤田周造君  
 松田文義則君  
 宮内義三始君  
 溝山本新次郎君  
 吉木龜三郎君  
 和田忠治君

關口四郎君  
 出島嘉吉君  
 中西鍊次郎君  
 原口要君  
 匹田敏夫君  
 松澤藤一君  
 用瀬松太郎君  
 青木元五郎君  
 青藤誠吉君  
 伊石渡功君  
 今井義和君  
 上大竹邦平君  
 大藤直哉君  
 大河戸宗治君  
 勝又愛治君  
 寛北澤忠男君  
 國澤新兵衛君  
 小澤井準一君  
 佐木恒太郎君  
 山東兵藏君  
 島崎直也君  
 田川正二郎君  
 田嶋越金之助君  
 並川熊次郎君  
 西林大條寬君  
 伴留並喜君  
 福本丸峯田國吉君  
 本野熊雄君  
 吉田耕一君  
 渡邊六郎君







佐藤長太郎君  
青木善馬君  
山田一君  
八島茂君  
楠田九郎君  
奥澤耕速君  
上原恵迪君  
戸原興四郎君  
山本潔君  
吉野徳一君  
高田清君

金壹圓五拾錢  
金貳圓宛  
金參圓宛  
安西榮太郎君  
三浦義太郎君  
花井卯一君  
永田光之助君  
金四圓宛  
三好貞七君

會員大正十五年度第一期分會費

金六圓宛  
金四圓五拾錢  
金參圓

准員大正十年度第三期分會費

金參圓

准員大正十一年度第二三期分會費

金六圓

准員大正十二年度第一期分會費

金四圓宛

岩田露市君

准員大正十二年度第二期分會費

金四圓宛

溝江昇君

准員大正十二年度第三期分會費

金四圓宛

栗田益吉君

進藤政君

金貳圓

金壹圓

准員大正十三年度第一期分會費

荒地忠吉君  
市村定君  
古山癸一君  
高梨耕幣君  
安永五三二君  
津田安治郎君  
庄野卷治君  
樋口操君  
山下利兵君  
稻垣兵太郎君

大西清君  
岩崎雄治君  
新井九郎君  
川井富市君  
山倉喜一君  
山岸貞一君  
前原重晴君  
中川政次郎君  
岸田正一君

仲田聰治郎君  
大西清君  
高田清君

吉村瀧一君

穂積哲三君

穂積哲三君

土井源三郎君

田代瑞穂君

下村猛君

長尾貞作君

榎木寛之君

本多憲千代君

穂積哲三君

山田正隆君  
高山節繁君  
松田貞治郎君  
田中恵君  
山邊芳雄君  
濱野直義君  
田賀奈良吉君  
菅良二君  
土肥憲二郎君  
藤村蓋君

百瀬泰治郎君  
黒岩隆君  
金子源一君  
下村猛君  
田淵壽郎君  
田中第二君  
久布白兼治君

野澤房敬君

本多憲千代君

田村勝好君

本多憲千代君

野村真道君

木村政衛君

榛葉孝平君  
鈴木角一君  
林千秋君  
今泉茂松君  
江橋貞二君  
海野斐雄君  
森田松三郎君  
熊谷直道君  
原田碧君  
栗原忠三君

諏訪頼道君  
小山清孝君  
田中熊彦君  
松木伊之吉君  
佐生靜司君  
長谷川貞三君

小谷富雄君

穂積哲三君

吉村瀧一君

小田賢郎君

坪根守利君

金四圓宛 近藤三次君	河西定雄君 吉村龍一君	猿谷一郎君 稻葉通彦君	大内勇君
---------------	----------------	----------------	------

准員大正十三年度第二期分會費

金四圓宛 野村眞道君 溝江昇君 古賀義人君	河西定雄君 速水龍五郎君 中村新作君 神保金衛君 越智猪之助君 山本貞郎君	石崎哲三君 鮫島茂君 榎木寛之君	友永染藏君 石松潔君 岩田露市君
--------------------------------	--	------------------------	------------------------

准員大正十三年度第三期分會費

金四圓宛 内村三郎君 鈴木福藏君 坪根守利君 稻葉通彦君	河西定雄君 吉田坦君 鏗瀬武君 山本貞郎君 土井源三良君 奥崎益美君 岡密君	久米初次君 吉田二億君 遠藤竹三郎君 奥村武夫君 吉原正明君 鈴木邦彦君	勝海恭次郎君 野村眞道君 猿谷一郎君 河合清君 中村猛君
--	--	---	--

伊藤春太郎君

准員大正十四年度第一期分會費

金四圓宛 鈴木邦彦君 下村猛君 山田耕三君 田村勝好君 栗原斧衛君 猿谷一郎君 小林眞之助君 小進藤政君 山本貞郎君 重木滿藏君 佐藤石藏君 奥村八郎君	笹倉外三郎君 米田達次郎君 庄子誠一君 大木外次郎君 森永鐵次君 鮫島茂君 越智猪之助君 青野隆次君 小谷大五郎君 澁谷順作君 小谷富雄君 後藤清君 五島文夫君 清水又一君 岩崎瑩吉君 加藤木賢介君	河西定雄君 佐々木善八君 近藤俊治郎君 野村眞道君 吉原正明君 郡新一郎君 福井友三郎君 篠原誠一君 尾内庄吉郎君 櫻井勇君 奥村武夫君 小島晋君 神保金衛君 島田善稻君 村山常作君	石崎哲三君 野忠治君 佐武正一君 坂田昌亮君 栗田益吉君 木村政衛君 中村猛君 小川亮次君 田代瑞穂君 小林武君 小近藤三次君 稻葉通彦君
--	--	---	--

准員大正十四年度第二期分會費

金四圓宛 小原秀雄君 松尾春雄君 渡邊良三君 深原久義君	倉笹外三郎君 富澤精司君 伊藤二郎君 塙哲郎君 淺見洋君	小林政一君 三好武夫君 末松榮君 堤格三君 渡邊眞一郎君	鈴木彦邦君 大島左門君 西勝造君 安西榮太郎君 岩崎準一郎君
--	--	--	--

安藤太郎君	絹笠半藏君	松浦不二夫君	福島鶴太郎君
松田俊正君	山田耕三君	大橋安太郎君	三瀬清夫君
橋本高次君	吉田光夫君	境清吉君	高敏郎君
林爲藏君	山下篤君	水谷清君	村田三郎君
田部正志君	佐川喜久壽君	正木吉太郎君	武藤吉治君
鶴岡守治君	谷口成之君	津路嘉起君	三木己代吉君
高田貞一君	島雅義君	長谷川幸之助君	寺田悌君
待山義雄君	本多末吉君	森永鐵次君	野中幸一郎君
關定三郎君	栗田益吉君	岸川俊輔君	江崎義人君
山下清吉君	水野越夫君	遠藤佐五右衛門君	川島恭平君
望月專一君	津田康吉君	吉積勝人君	越智猪之助君
小山良雄君	稻田隆君	塚本精太郎君	上田富君
奈良崎平助君	阿部一郎君	爲田不二君	磯野九一郎君
鈴木信次君	田中正次君	原一造君	野矢清君
村山常作君	山本貞郎君	岡密君	外川靜君
齋藤甚治君	清水喜男君	梅津理次君	松谷正君
緒方長一君	新郷高一君	淺井郁爾君	小林鴻策君
原壯之君	石崎貞二君	柴田悦太郎君	小谷富雄君
高田清君	小島晋君	和田嘉六君	小山壽雄君
村上善藏君	柏原清助君	櫻井源三郎君	小河戸萬吉君
西畑常君	野村良雄君	睿掛重義君	川本陣二君
村田喜四郎君			
金參園宛	村上正雄君	門司武久君	鈴木清一君
大須賀一策君	土屋龍夫君	寺崎多君	佐藤常雄君
山田庫吉君	高野與作君	大政茂市君	伊藤幸一君
野口兼吉君			
金壹圓五拾錢	南出保太郎君		
金壹圓	川上暢夫君		
准員大正十四年度第三期分會費			
金四圓宛	田中種雄君	桑原廉次君	池內直義君
佐藤聰壽君	新井止郎君	小原秀雄君	阿部八洲太郎君
井上禎一君	飯島馨之助君	伊藤樞次郎君	伊藤政惠君
尾崎義一君	小川誠耳君	奥田宗一君	黒宮富四郎君
金子眞男君	喜多川一司君	貝沼護時君	佐藤堤君
佐藤盛亮君	坂元左馬太君	助川廣美君	瀬田一雄君
高田貞一君	高桑敬二君	高津謙介君	高橋猛雄君
田村即松君	田沼實君	谷口清三郎君	富永芳太郎君
長島清松君	秦野重義君	長谷川幸之助君	兵藤直吉君
藤掛清三郎君	長田誠三郎君	中村廣男君	森川眞助君
村尾伴一君	村山正一君	吉川正夫君	柳本新馬君
吉田坦君	山本康平君	和田大五郎君	荒木多馬君

有馬英男君  
 伊藤美代治君  
 大鹽政治郎君  
 北林正孝君  
 桑原芳樹君  
 小林昌亮君  
 坂田武雄君  
 清水正重君  
 千水輝治君  
 富安寬君  
 一色金彌君  
 森下文峻君  
 湯原政雄君  
 安藤秀夫君  
 安部源隆君  
 伊村貢君  
 伊藤發之助君  
 伊藤春太郎君  
 上山經亮君  
 尾島是一郎君  
 小野木賢介君  
 加藤合清君  
 河木下武之助君  
 工藤鶴吉君  
 熊田隆治君  
 小倉兼友君  
 小島萬治君  
 酒井勇君  
 坂上丈三郎君  
 佐野安吉君  
 島山直次郎君  
 陶木長治君  
 鈴中喜代志君  
 田高野太郎君  
 寺田平治君

池田乙次郎君  
 遠藤正巳君  
 河合信君  
 菊池芳君  
 小池啓吉君  
 近藤喜次郎君  
 佐々木善八君  
 鈴木重英君  
 關日季靜君  
 田中傳吾君  
 永田政一君  
 廣瀨榮次郎君  
 森本孝二君  
 山田正二君  
 吉越康治君  
 有本恒太郎君  
 砂治國良君  
 生野俊男君  
 今井潔君  
 伊地知綱彦君  
 石山新三郎君  
 宇田健二君  
 小野澤藤三君  
 大谷保彦君  
 尾古重稔君  
 河瀬元治郎君  
 龜田惠君  
 木戶義男君  
 國富由太君  
 小林政一君  
 小室親一君  
 齋藤庄三君  
 佐土原勳君  
 境治義君  
 鮫島午吉君  
 清水善治君  
 杉山利雄君  
 善如寺秀太郎君  
 竹中喜義君  
 高崎元一君  
 富田正通君

稻葉通彦君  
 岡部藤次郎君  
 川勝忍君  
 岸本日出次郎君  
 香坂兼夫君  
 佐武正一君  
 佐藤東次郎君  
 鋤柄小一君  
 瀧淵實烈君  
 千葉秀雄君  
 濱田文路二君  
 松浦孝一君  
 村上保則君  
 安井常三郎君  
 相原益隆君  
 朝倉廣太郎君  
 稻葉彌吉君  
 伊藤清君  
 岩田壽市君  
 岩田二郎君  
 岩瀨安藏君  
 太田民夫君  
 岡山銀次郎君  
 大内勇君  
 菅野健治君  
 清川忠雄君  
 木村晃正君  
 栗原良輔君  
 小出真太郎君  
 小松七郎君  
 左坐小一郎君  
 佐藤好市君  
 三城佐知君  
 清水善三郎君  
 下村鏡介君  
 杉代隆亮君  
 田中敬二君  
 田中正治君  
 外所太重君

泉松太郎君  
 大石大助君  
 蒲生喜助君  
 久保幸信君  
 小早川貞三君  
 佐藤與吉君  
 柴田直光君  
 須賀芳政君  
 田中勤君  
 富澤特司君  
 長谷川章平君  
 松野辰治君  
 武藤守明君  
 山本一之助君  
 新井熊市君  
 阿部武三太郎君  
 岩崎準一郎君  
 伊川重良君  
 石川治平君  
 岩崎瑩吉君  
 飯田正熊君  
 漆原久義君  
 落合忠禮君  
 大槻虎八君  
 今井好助君  
 北村研君  
 喜多權次郎君  
 楠川盛之君  
 小宮益三君  
 小林廣二君  
 櫻庭英三君  
 齋藤英夫君  
 芝池榮次郎君  
 杉木富太郎君  
 鈴多田安三郎君  
 高木春雄君  
 堤榮左衛門君  
 戶澤耿介君

富田光義君  
 永井忠兵衛君  
 中山純一君  
 幡鎌俊次君  
 平野重市君  
 藤澤勝見君  
 堀越知三君  
 松田充治君  
 増井彦松君  
 松山巖君  
 三好武夫君  
 宮北敏夫君  
 森田利吉君  
 森四郎君  
 山中伊三郎君  
 湯部熊清君  
 明石太重郎君  
 伊藤信次君  
 小大川義文君  
 川原常吉君  
 木邑錄次郎君  
 後藤佐吉君  
 後白富林藏君  
 中垣藏君  
 沼田征矢雄君  
 稗方正男君  
 御田龍太郎君  
 諸田山三郎君  
 山口德兵衛君  
 吉岡文政君  
 瀬戸川三男次君  
 秋山樵平君  
 荒井荒三郎君  
 岩橋茂藏君  
 伊藤忠藏君  
 上田武富君  
 長田武治君

富安鑿助君  
 中村卓郎君  
 西原脩三君  
 比企元君  
 福島鶴太郎君  
 逸見尙義君  
 堀威夫君  
 松尾末太郎君  
 丸山齡治君  
 三島三平君  
 三浦實君  
 武藤於菟君  
 諸川雄二郎君  
 矢野鷹雄君  
 山形鏡太郎君  
 吉田重辰君  
 和阿部謙夫君  
 池上重吉君  
 小田一郎二君  
 大島六七男君  
 加藤三十郎君  
 吉川至道君  
 小林幸七君  
 猿谷新太郎君  
 杉山雄二郎君  
 富松幸登君  
 西野清民君  
 原田謙一郎君  
 藤波田次郎君  
 水本兵勝也君  
 山本松榮君  
 末穴澤藤作君  
 阿部忠作君  
 伊藤雅茂君  
 入江雅郎君  
 遠藤寬君  
 大竹卯八君

富田惠四郎君  
 長岡喜八郎君  
 野上卯君  
 平野忠君  
 深尾代治君  
 別所啓瀨君  
 堀内保君  
 松下直茂君  
 丸浦忠直君  
 水野太賀君  
 水野廣之進君  
 村瀨吉雄君  
 森田富士助君  
 八乙女正君  
 山田安三君  
 吉田金之丞君  
 若林福誠一君  
 有梅原達也君  
 樗木篤夫君  
 白井秀藏君  
 岸本董治君  
 倉田玄二君  
 小坂勇進君  
 櫻田博智君  
 成瀬正成君  
 西谷川昇二君  
 長本庄鹿五郎君  
 村上時正哉君  
 柳夕瀨爾君  
 山崎勝造君  
 西相澤一馬君  
 天野辰雄君  
 石井林次郎君  
 今泉吉生君  
 梅澤景秀君  
 遠藤佐五衛門君  
 岡田實君

長島敏君  
 直山實君  
 野口悅次郎君  
 廣瀨常雄君  
 藤原孫七君  
 堀口多吉君  
 眞岡隆介君  
 松田勤治郎君  
 松井惣太郎君  
 水野忠保君  
 水谷鐵一君  
 村井佐八君  
 森田義之君  
 山崎源次郎君  
 横田利喜一君  
 阿部林平君  
 井浦亥三君  
 海老田政一君  
 小田靜雄君  
 片桐元君  
 木村富治郎君  
 小西政喜君  
 小笹島一郎君  
 坪井衛二君  
 長沼崎寧君  
 平水爲春君  
 松島義雄君  
 椋木修造君  
 山崎慎二君  
 清水井熊君  
 新安井藤平君  
 今飯田好憲君  
 内山武君  
 小岡田秀吉君  
 崎逸三君



佐藤勝衛君  
 清水千代治君  
 鈴木龍雄君  
 高田廣君  
 竹內常八君  
 千々和正止君  
 常葉隆一君  
 中原達弘君  
 根岸耕司君  
 林將治君  
 樋口正名君  
 武澤源一君  
 松井喜四郎君  
 村野爲次君  
 森田焜次君  
 山本織太君  
 吉森憲一君  
 和氣覺次郎君  
 青木金義君  
 上床義正親君  
 衛坂田安夫君  
 小水村博夫君  
 鈴木敏市君  
 高島久之助君  
 中林政之亮君  
 松尾七藤四郎君  
 右谷川恒二君  
 長井政行君  
 新今越前谷長吉君  
 小野口貞君  
 小林秀雄君  
 佐川喜久壽君  
 鼠入豐治君  
 戶田弘君  
 松本義一君  
 若東林邦治君  
 良治君

坂田治人君  
 島田登一君  
 關谷清助君  
 高橋寅三君  
 田中興六君  
 津田伊吉君  
 永野貞之助君  
 中野清次郎君  
 野村清次郎君  
 馬場福治君  
 平澤城久君  
 水源野鉉三君  
 村本武君  
 柳山保之助君  
 本田清治君  
 橫邊秀幸君  
 渡井上善助君  
 井藤壽郎君  
 薄栗盛三郎君  
 小葉林武君  
 小林貞弘君  
 千田發榛君  
 陳川延喜君  
 西藤原琢而君  
 松井精二郎君  
 光成穀平君  
 原田平太郎君  
 淺田奧義男君  
 江連長男君  
 藏重島晉君  
 小清水堅君  
 高木保俊君  
 長久保光藏君  
 南出保太郎君  
 秋岡良太郎君

雜賀大藏君  
 鈴木千代實君  
 曾根正善君  
 高田直三君  
 龍田永染藏君  
 友原壽一郎君  
 中原源太郎君  
 長屋口兼吉君  
 野井力君  
 平藤木朔君  
 福士武一君  
 水谷一整治君  
 村山名晃君  
 吉村喜知守君  
 與田邊六太郎君  
 渡池田莊一君  
 內村四稻輔君  
 大加山木齋治君  
 佐々木愨市君  
 高千陽川總一君  
 西藤崎五郎君  
 正吉幸之助君  
 村山平之一君  
 林有部貞雄君  
 阿漆知方保治君  
 緒郡新一郎君  
 小林信一君  
 鈴木英二君  
 田邊利男君  
 仲山金治君  
 山岡桂次郎君  
 安藤藤太郎君

島田貫一君  
 杉村誠之介君  
 武井外一君  
 田島豐吉君  
 辰野小四郎君  
 土井源三良君  
 南保忠二君  
 西澤忠三郎君  
 原川康君  
 檜山千里君  
 藤田正美君  
 松本敬次郎君  
 武藤政泰君  
 森口圭助君  
 山田光夫君  
 吉陸耕三君  
 青木德二君  
 上野正賢君  
 小川口遠郎君  
 境清吉君  
 高橋幸藏君  
 寺岡貞喜君  
 西村修廣君  
 中松下宅一君  
 津田貫一等君  
 細田哲三君  
 石海野崎次男君  
 岡小藤林庄治君  
 近藤恭三郎君  
 鈴木邦彦君  
 知久庄作君  
 野村中清君  
 山嘉米三君  
 中岩開正臣君

伊今	東村	清正	一君	五十	嵐作	榮三	君	飯植	尾村	了倉	二君	稻葉	權兵	衛君
榎大	本橋	安太	樹君	飯大	野崎	金保	君	折原	原崎	秀益	雄美	岡合	林吉	密君
川加	上藤	留米	耶君	岡近	藤村	幸良	君	川來	村島	重良	平亮	片野	牛之	雄進
栗清	原水	芹又	藏君	木佐	藤清	幸一	治君	佐鈴	藤廣	真太	治丸	篠田	誠一	秀君
杉田	浦中	文康	一君	清須	田中	正憲	耶君	聖田	川中	若鑑	丸也	武立	川大	市君
田坪	部田	正志	朝君	田添	忠太	耶君	露君	瀧長	尾昌	達平	也二	恒中	村義	三君
長馬	嶺場	豐太	君	土奈	良茂	太耶	樹君	內原	藤芳	鼎男	君	西菱	谷房	一君
藤宮	岡末	保君	藏君	原本	亮篤	行君	行君	松下	野尙	越夫	君	宮山	田武	助君
山栗	木根	弘行	君	箕米	浦川	敬功	治君	水吉	野見	胤允	君	若飯	林清	治君
岩小	尾川	新亮	君	伊勝	井呂	肆正	耶君	尾河	形原	銀常	次耶	大錄	田春	明君
菅浮	田俊	耶君	君	久齋	藤田	善章	君	久皿	原井	友稔	君	小下	川潮	一君
白武	石部	順次	君	島田	中原	武常	君	岡田	島尾	類正	君	高谷	桑口	成君
津新	路名	嘉太	君	中西	畑莊	秀一	君	原正	木吉	太耶	君	水濱	崎惣	五君
廣味	岡益	之君	君	本三	木已	代吉	君	森川	野重	米吉	君	山栗	田庫	七君
山秋	田喜	眞太	君	築青	崎川	秀輝	君	磯垣	部見	磯俊	一君	浮片	原榮	治君
小河	木合	治八	君	川小	野林	茂吉	君	北小	谷大	五耶	君	小金	山佐	雄君
楠五	島道	文君	君	佐春	藤馬	龍三	君	佐鈴	木橋	欽經	君	小清	水廣	次君
志園	田光	太耶	君	相坪	根岡	宏治	君	高中	島勝	三耶	君	德丹	永生	一君
塚長	本澤	圭武	君	西福	岡鹿	之助	君	原丸	山崎	忠亮	三君	平見	木源	太君
日村	比上	正保	君	森川	上暢	夫君	君	丸山	崎田	隆君	君	見米	田長	剛君
綿	貫	保	君					稻				辰野	野長	太君





金 參 圓 宛	長 濱 重 磨君	磯 部 光 雄君	庄 司 陸 太 郎君
岡 村 源 一君			
金 貳 圓	岩 崎 雄 治君		
金 壹 圓 宛	安 西 榮 太 郎君	川 井 富 市君	金 子 源 一 郎君
小 山 清 孝君	三 浦 義 太 郎君	山 倉 嘉 一 郎君	下 村 猛君
田 中 熊 彦君	花 井 卯 一君	山 岸 貞 一君	田 中 第 二君
田 淵 壽 郎君	松 本 伊 之 吉君	佐 生 靜 司君	前 原 重 晴君
鈴 木 秀 彦君	新 井 九 郎君	黒 岩 隆君	諏 訪 頼 道君
永 田 光 之 助君			
准員大正十五年度第一期分會費			
金 四 圓 宛	長 濱 重 磨君	遠 藤 佐 五 右 衛 門君	福 光 平 吾君
金 參 圓	清 水 又 一君		
金 貳 圓 五 拾 錢	三 好 武 夫君		
金 壹 圓 拾 參 錢	川 上 暢 夫君		
准員大正十五年度第二期分會費			
金 四 圓	長 濱 重 磨君		
准員大正十五年度第三期分會費			
金 四 圓	長 濱 重 磨君		
學生員大正十二年度第一期分會費			
金 貳 圓 五 拾 錢	岩 崎 瑩 吉君		
學生員大正十二年度第二期分會費			
金 貳 圓 五 拾 錢	岡 密君	越 智 猪 之 助君	
學生員大正十二年度第三期分會費			
金 貳 圓 五 拾 錢 宛	岩 崎 瑩 吉君	三 好 武 夫君	鈴 木 清 一君
富 田 龍 一 郎君	小 田 金 治君	飯 尾 了 二君	伊 藤 春 太 郎君
學生員大正十三年度第一期分會費			
金 貳 圓 五 拾 錢 宛	岡 密君	山 本 貞 郎君	加 納 次 郎君
學生員大正十三年度第二期分會費			
金 貳 圓 五 十 錢 宛	鈴 木 清 一君	小 田 金 治君	
金 壹 圓 八 拾 七 錢	山 本 貞 郎君		
金 壹 圓 貳 拾 五 錢 宛	小 泉 正 己君	平 井 寛君	
金 六 拾 貳 錢	森 俊 夫君		
學員大正十三年度第三期分會費			
金 貳 圓 五 拾 錢 宛	鈴 木 嘉 一君	武 本 光 太 郎君	岩 崎 瑩 吉君
三 好 武 夫君	鈴 木 清 一君	剗 作 樞君	谷 口 成 之君
福 島 三 七 治君	新 郷 高 一君	依 藤 寛君	
金 六 拾 貳 錢 宛	國 富 忠 寛君	伊 藤 春 太 郎君	
金 壹 圓 八 拾 七 錢	大 野 博君		
金 壹 圓 貳 拾 五 錢 宛	高 水 健 吉君	吉 原 正 明君	
學生員大正十四年度第一期分會費			
金 貳 圓 五 拾 錢 宛	大 野 唯 糊君	三 好 武 夫君	鈴 木 清 一君

松村孫治君	寺井英雄君	大川一郎君	波邊彌作君
町田保君	有馬益君	佐藤卯三郎君	寺崎多君
小田金治君	古市千太郎君	谷口成之君	山口直樹君
高野與作君	新郷高一君		
金壹圓八拾七錢宛	岩崎瑩吉君	源五郎九佐源次君	宮崎貢君
高木天君	杉之尾實之君		
金壹圓貳拾五錢	菊池成夫君		

學生員大正十四年度第二期分會費

金貳圓五拾錢宛	小野道人君	河野秀一君	小林幸治君
大野唯糊君	古川朝時君	濱地辰助君	王者貴君
鈴木嘉一君	松村孫治君	大川一郎君	有馬宏君
杉戸清君	清水雄吉君	山崎桂一君	佐藤卯三郎君
磯谷道一君	浦要治君	猪口理德君	辰村國治君
加藤喜一郎君	古屋寅雄君	水田増美君	山田友治郎君
原本和佐君	近石義己君	小泉正己君	小笠原顯性君
菊池成夫君	中川遼君	雲蹴眞一君	君島與一君
宮村茂雄君	近藤醇厚君	加納次郎君	
金六拾貳錢	村上正雄君		
金壹圓八拾七錢	川上暢夫君		
金壹圓七拾五錢	平井寛君		
金貳圓宛	芥川暉雄君	二村宏君	
金壹圓貳拾五錢宛	若槻章一君	大月幸男君	

學生員大正十四年度第三期分會費

金貳圓五拾錢宛	古市千太郎君	田代博雄君	立家正治君
伊藤和夫君	樋田廣正君	福田讓君	蒲原要三君
宮崎貢君	白井一郎君	大月幸男君	雲城廣一君
君島與一君	川田光惠君	松原祐一君	永淵五郎君
水田増美君	阿部鐵藏君	原本和佐君	岩崎勇君
佐藤寛君	福島三七治君	石井多三君	山本英俊君
江上義郎君	浪平貞雄君	美藤義利君	源五郎九佐源次君
藤井虎男君	小山俊一君	近石義己君	内川龍雄君
河村秀一君	木村又左衛門君	岡田正一君	豐住豐君
藤原一雄君	杉之尾實之君	李熙駿君	河野爲二君
若槻章一君	勝並治八君	大野博君	下島經周君
森俊夫君	古川朝時君	國富忠寛君	小久見清男君
高木天君	小泉正己君	西口品三郎君	清水政實君
鈴木嘉一君	松村孫治君	杉戸清君	石塚字吉君
秋山和夫君	藤原孝一君	澤勝藏君	泉一雄君
小山猛三君	猪口理德君	辰村國治君	加藤喜一郎君
古谷寅雄君	三木光一君	上野正夫君	室川與一君
高木健吉君	内田博君	劉作樞君	小笠原顯性君

平井 護君	土田 喜三 次君	郎 在 英君	中 川 達君
日野 博君	芥川 暉 雄君	富田 龍一 郎君	小 林 一 市君
光井 三 郎君			
金壹圓貳拾五錢	伊 藤 和 夫君		
金六拾貳錢	白 井 一 郎君		
學生員大正十五年度第一期分會費			
金壹圓貳拾五錢	伊 藤 和 夫君		